

Creative Living

The Artistry of Hahnemühle Papermaking (抜粋)

まず、ハーネミューレの意味を教えてください。

ハーネは雄鶏（ロゴになっている）、ミューレは水車という意味です。

「ハーネミューレ」は、名前の由来となったカール・ハーネミューレから名付けられました。彼はカール・ハーネミューレという名前で、名前の最初の部分がハーネ、ミューレは水車です。お二人ともハーネミューレでそれぞれ20年以上お勤めですね。現在ファインアート用紙のプロダクトマネージャーとセグメントリーダーを務めているラナさんと Marketing Communications & PR のバーバラさんがゲストで語っていただきます。

世界中には1万以上の製紙業者と工場があり、ノートからパッケージ、ファインアート用紙、写真用紙まで、年間数億トンもの紙を生産しています。職人技と伝統において、ハーネミューレが他の製紙業者と比べてなぜこれほどユニークなのか、少し教えてください。

私たちが所有している型抜き抄紙機について話していました。世界には、このような型抜き抄紙機を持っているのはわずか4、5社しか残っていません。私たちはそのうちの1社です。

これらの機械は、手漉き紙に最も近い紙を生産している機械です。

私たちは素晴らしい経験をしています。それに、私たちはまさにゾリング山の麓にいます。高品質の紙の製造に使用している水は、非常に純粋できれいな湧き水です。」

「マールテン・シュピース氏がこの製紙工場をまさに今の場所に設置したのも、このきれいな湧き水のおかげです。ハーネミューレが紙の製造に特別な水を使用していることも、非常に特別な点です。水がきれいであればあるほど、紙の質も向上するからです。そして、私たちは水を借りているだけで、自然に返しているのです。」

私たちの441年に渡る歴史は常に自然とその保護と深く結びついており、自然と持続可能性は私

たちの DNA に刻まれています。生産現場もまさにその中心にあります。「何もないところにある」と私たちは言います。なぜなら、本当に緑豊かで、山々があり、水があり、牛もいるからです。ですから、ここは本当に自然豊かな場所で、湧き水を借りて紙を生産しています。紙を生産する上で水は非常に重要だからです。

「工程の 80～90%は水を使用しています。紙が乾燥すると、化学処理を一切行わずに水は自然に還ります。すべてがとても清潔で純粋なので、そのまま自然に還すことができます。ですから、これも私たちが持っている経験、使用している原材料のおかげなのです。」

私たちは常に最高品質の原材料を使用しています。これは私たちにとって非常に重要です。私たちの紙は酸を含まないヴィーガン素材であり、これは私たちにとって非常に重要です。紙は経年変化にも強いのです。」

「これらの特徴を実現するために、セルロースや綿繊維など、驚くほど高品質な原材料を使用しています。しかし、ここ数年で発売したサステナブル繊維についてもお話ししたいと思います。これからお話しする天然繊維の使用においては、非常に優れた原材料に重点を置きました。竹繊維、麻繊維、アガベ繊維、サトウキビ繊維といった持続可能な繊維です。これらは、手間がかからず、成長が早く、農薬を必要としない植物から得られる繊維です。

必要な水の量が大幅に少なくなるため、環境保護にも大きく貢献します。そして 2008 年には、この持続可能な繊維を使った天然繊維のラインとして、竹製ミクストメディア・アーティストペーパーを発売しました。このニッチ市場、アーティストペーパー市場において、90%の竹繊維と 10%の綿繊維を配合したミクストメディア・ペーパーを初めて発売した企業として、いくつかの賞を受賞しました。私たちはアガベについて研究し、その後、麻についても同様の調査を行いました。

「そして、メキシコからアガベがアフリカに渡り、アフリカでは「アフリカのブロンドゴールド」と呼ばれていました。アガベは水を必要としない、非常に手間のかからない繊維で麻もまた、約 1 万 2000 年前から知られている繊維です。中国やペルシャでは、布地やロープを作るのに使われ、

種子は食用にもされ、医療用にも使われていました。しかし、麻の繊維は非常に強く、実際に紙を作ることができます。

もちろん、実現には長い時間がかかりました。私たちは研究を重ね、生産試験を行い、どのような紙ができるかを調べました。そして、サトウキビも活用しました。サトウキビは、私たちの自然界における最後の仲間です。

これは成長の早いサトウキビから採取したもので、実は砂糖生産の過程で残ったものです。私たちにとって、これは非常に貴重な原料であり、本来は焼却処分されるはずのものです。しかし、私たちはそれらを使って紙を作っているのです。私たちは手作業で紙を作り、材料を混ぜ合わせ、アガベと綿の比率はどうすべきか、それともセルロースと使うべきかなどを検討します。なぜなら、これらを混ぜ合わせる必要があるからです。なぜなら、これらの持続可能な繊維は非常に強く、丈夫だからです。

そして、画用紙を作るには別の素材を混ぜ合わせる必要があり、私たちはそれを綿と混ぜ合わせます。しかし、紙の60～70%は持続可能な繊維である天然の線状繊維で、それを綿繊維と混ぜ合わせます。これは、おっしゃる通り、私たちがそこに座ってテストをしているようなものです。私自身も絵を描きます。

ですから、研究室で作ったばかりの紙に直接テストをする機会があります。そして、それがうまくいけば、機械で最初の試作品を制作し、それをまたテストする、という作業を繰り返すのです。

次に、これらの特殊な素材で紙を作ることと、従来の木材パルプを使うことの違いについて考えてみましょう。例えば、どのようなメリットがあるのでしょうか？もちろん、持続可能性がメリットであることは分かっていますが、アーティストにとってより良い結果をもたらすのでしょうか？

まず、持続可能な繊維について試験や研究を行う際に、もちろん、それらの繊維に特別な特徴があることは分かっています。先ほども申し上げたように、非常に丈夫で、強度が高く、非常に硬いのです。そして、持続可能な製品ラインに新製品を追加することを考える際には、坪量をこれこれこ

うすべきだと考えます。

そしてテストを行います。そして、水彩画にとっても美しく仕上がることを確認したら、さらに改良を加えます。そして、『よし、これは水彩画技法に適した紙だ。このアガベ繊維は水彩画に最適だ』と判断します。例えば、麻繊維で試作してみて、これがスケッチ用紙に最適だと感じたら、その素材に着目します。そして、「よし、作業を進めよう。乾いた絵画技法に適した麻紙に焦点を絞ろう」などと考えます。

竹で試作した時に、最初の試作を行いました。

「これはミクストメディアに最適だ。水彩、アクリル、ファインライナー、そしてお好みであればパステルも使える」と気づきました。サトウキビの繊維についても、これは乾いた絵画技法に適した紙だと気づきました。水彩に非常に適していますが、例えばグワッシュにも最適です。

繊維の特性が特定の技法に適していると気づいたら、その技法に着目します。少し自由に表現します。もちろん、坪量も決めます。

「ハーネミュレの紙はすべてヴィーガンです。合成接着剤のみを使用し、動物性資源は使用していません。

1997年、私たちはデジタルファインアートペーパーシリーズを発明しました。これはどういうことでしょうか？アーティストたちは、作品を制作し、複製したいと考え、アーティストペーパーに作品を載せました。

彼らはそれを複製して販売したり、限定版を作ったりしたいと考えていました。そこでハーネミュレは、インクが紙に染み込まないコーティングを施した紙、アーティストペーパーを発明し、製造しました。このコーティングにより、色はオリジナルとほぼ同等に見えます。ハーネミュレの

紙で作品を複製すると、どれがオリジナルでどれがレプリカなのか、ほとんど見分けがつかないほどです。

ナチュラルラインはどんなアーティストにもお使いいただけますが、特に持続可能な資源から作られた紙を探している方、原材料が異なり個性的な紙に興味がある方、紙の代替品を探している方、そして実験的な試みに興味がある方に最適です。ナチュラルラインの紙は、当然のことながら、色の流れが異なり、顔料の定着も異なります。ですから、実験したい時や、新しい種類の紙を試してみたい時にも最適です。例えば、パッドには 14 種類の水彩紙しか入っていません。水彩紙は 44 種類あるのですが、14 種類なんです。

「どうしてこう流れて、こう流れないのか、私にはわかりません。最初は少し大変だと感じる人もいるかもしれませんが、今では慣れてきています。色々な要素が混ざり合っていると思います。ベルリンには「ハウス・デ・パピエ」という美術館があります。そこでは、紙という素材の認知度を高めるために、立体的な紙アートの個人コレクションを所蔵しています。絵画だけでなく、様々な紙アートも常に探しており、たくさんの作品があります。

持続可能で急速に成長している他の繊維も扱っています。私たちはその研究開発を行っています。そのため、私たちは現在もその分野に注力しており、今後も注力していきます。

私たちは人々にインスピレーションを与え、誰もがアーティストであるという感覚を味わってほしいと思っています。

そして、誰もが白いシートへの恐怖心をなくしたいと思っています。プロの方や、趣味で創作活動に励む方向けの大型パッドやシートなど、様々な製品を取り揃えているだけでなく、ここ数年は、ただクリエイティブなことをしたい方、家に帰ってきた時や「今日は大変な一日だったな。何か絵を描きたい、落書きしたい」という時に何かを書きたい方向けの製品も提供しています。例えば、

ここ数年で、自分だけのしおりを作れるブックマークパッドや、直径わずか 13 センチの丸型水彩紙などを発売しました。

ですから、とてつもなく大きなアート作品を作る必要はありません。創作活動に没頭している時に、時間を忘れて小さなものを作るだけでも良いのです。ミニパッドも発売したばかりです。

「私たちは市場の声に耳を傾け、アーティストや写真家を深く理解し、彼らに焦点を当てています。それがおそらく違いを生んでいるのでしょう。絵を描いている時は、私にとって是一種の自分だけの時間。自分にとって、あるいはもしかしたら他の人にとって意味のあるものを創造する時間です。でも、創造性は芸術だけに限りません。

創造力を発揮することで、創造的かつ効果的な方法で問題を解決することもできます。創造性は仕事だけでなく、私生活でも既成概念にとらわれない思考を促し、人生の様々な側面で役立っています。

APPLE Podcasts

<https://podcasts.apple.com/us/podcast/beyond-the-blank-page-the-artistry/id1618834884?i=1000714398456>

IHeart Podcasts

<https://www.iheart.com/podcast/269-creative-living-95596917/>

Spotify

<https://open.spotify.com/episode/0x8r1HjHhvRqr8czqpULKo?si=858f20957f214952>

Audible

https://www.audible.com/podcast/Creative-Living/B09XQKQD8?source_code=ASSGB149080119000H&share_location=pdp